

【幼保小連携通信】

保育課・学校教育課
幼保小連携担当

夢に向かって挑戦する子ども

令和7年度
9月18日 No.7



こんな取組はいかがでしょうか？

【相模丘中学校区 幼保小中連携】

～相模丘中学校・川尻小学校・広田小学校・湘南小学校・太陽の子幼稚園・城山中央保育園・げんきっず城山保育園～

長年、幼保小中連携に取り組んでいる相模丘中学校区。今年度も、小・中学校の夏休み期間を利用して、園での公開保育・意見交流会や、「小中一貫の日」に幼保小中合同の夏季研修会を行いました。

城山中央保育園では、夏祭りに向けた準備の様子を参観しながら、先生方が客役となり、「プレ夏祭り」をしました。協議会では、子どもの主体性を引き出す先生の言葉かけや、話し合い活動での発問の仕方などが話題にあがりました。保育を参観し、協議する中で、個別最適な学びへのヒントを得たようです。お互いの学び合いが素敵ですね。



研修会では、幼保小、小中へのつながりについて、指導主事からの講演後、「幼保小（幼保・低学年）」「小中（高学年・中学校）」「支援教育」の3グループに分かれ、交流会をしました。

【鶴園小・谷口小学校区 合同協議会】

～鶴園小学校・谷口小学校・保育園アリス・ふじSunSun保育園・谷口幼稚園・谷口保育園・明徳かみつるま保育園～



6月に実施した幼保小連携研修に続き、2回目の協議をするため、谷口中学校区である鶴園小・谷口小・連携園が集まりました。「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」は、「キャリア教育で育みたい4つの力」（つながる力・自律する力・見通す力・乗り越える力）につながっていないだろうか、キャリア教育の土台となる園の学びをつなげたらよいのではないだろうか、合同協議会という新たな形で取り組むことにしたとのこと。趣旨を全体で確認後、年長・1学年担任、校長・園長の2グループに分かれて、幼保小連携について協議しました。今回は顔合わせと情報交換が主でしたが、最後には、いつでも校庭に遊びに来てよいことが伝えられました。

これが組織として形になり、継続し、幼保小中連携へと発展したら素敵ですね。

子どもの成長を切れ目なく支えるためには、一人ひとりの多様性や0～18歳の学びの連続性に配慮しつつ、教育の内容や方法を工夫することが重要です。「幼保小・小中は連携しているが、幼保中の連携はどうしたらよいのか」という声もありますが、子ども同士の関わりに拘らず、遊びを通した学びの教育的意義や効果を知ること、その学びが土台となり、小学校・中学校へつながっていることを意識することが大切なのだと思います。園を知ること、園を知ってもらうこと、その育ちをどう受け取り、どうつなげるのか。園校で考えていきましょう。